



# 新社長就任



四月一日より中田専市の後任として、中田勇司が代表取締役社長に就任しました。中田新社長は、

いつつ星会発足時より介護福祉事業に携わり、わくわく荘を始めとする施設運営を軌道に乗せるなど、二戸地域の介護事業の先達をしてきました。今回この手腕を、古巣でもあるフクタニにおいて発揮して頂くことになりました。『地域と社員の幸せ』をテーマに、従業員一人一人が皆様に信頼される存在となれますよう、そして会社として地域に貢献していける組織として、成長していくよう努力していきます。今回の就任に伴い、中田専市は代表取締役会長に就任し、従来通り経営のトップとして指導していただくことになりました。

☆新年度の役員体制は以下の通りとなります。

- 代表取締役会長 中田 専市
- 代表取締役社長 中田 勇司
- 専務取締役 木村 守
- 常務取締役 中田 彌悦
- 取締役 古川 栄
- 監査役 中田 光子



## ～ボールの力～

大きな樽を横倒しにして、その中に砲丸くらいからピンポン玉くらいまでの鉄球を入れてグルグル回す。その中に原料を入れ砂を作る機械をボールミルという。投入する原料のサイズによってボールの大きさや大小のバランスを調整しなければならない。今年から原料の投入サイズを大きくすることから、3月に全量取出し、入れ替える作業をした。大は3kg超から小は500g位まで。約3,000個を狭い樽の中から人力で取り出す作業は過酷である。これがパチンコの玉だったら幾ばくかの額で換金できるのだが。大きさを確認しながらまた入れ直す。これから一番能率の良いボールの量や原料の投入量を実地で検証していくこととなる。スイッチ一つでという訳にはいかない地道な繰り返しによる最適条件検索作業である。



↑ 鉄のたるの中



↑ 奥の穴から原料が入ってくる



↑ こんなボールが入っている

## 人事二話 社内

◆3月6日沢口敏子さんが60歳の還暦を迎えました。3月末で定年となりますが、継続して勤務していただくことになりました。これからも健康に留意して後輩の指導をよろしくお願いいたします。



勤続38年！お誕生日と一緒にお祝いました！

◆3月31日をもって大久保貴弘さんが退職となりました。次の職場でも元気で活躍することをお祈りします。

## 棚卸

年度末は棚卸の時期でもある。いる物といない物を分別していると、いらぬ物の多いことに改めて気づく。何かに使って使いきれず余った物。いつかは使うかもしれないとしまっておいた物。期限が切れている物。使い切れないものが淋しく空間を占領している。物は大事に使うべきであるが、使えない物や使わない物は捨てることも必要である。物もお金も人も、流動してこそ生き生きと存在感を増していくように思えるのだ。

## ディーゼル復活？

社用車としてマツダのデミオ1.5lディーゼルを導入した。激戦のコンパクトカーの市場で、アクアなどのハイブリッド車に対抗する車種である。国産ディーゼル車は、2001年に24車種が製造されていたが、石原都知事のペットボトルを持つ熱弁を受けて、規制が強化されマイナスイメージが蔓延し、2007年には国産車が製造されなくなった。しかし、ヨーロッパなどでは新車の50%がディーゼル車という実績がある。日本のディーゼル車も、かつてのようなガラガラと音を立てて、黒煙をまき散らすなどということはなく、走りも軽快である。石原都知事の発言が技術を後押しする形となった。

現在日本では、ガソリン車が主流であるため軽油が余剰となり、余った軽油を輸出によりバランスを確保している。輸入された原油を残さず有効に消費するためにもディーゼル車の復活は望ましいことである。本格的な電気自動車や水素自動車一般に普及するまではディーゼル車も選択技のひとつとなり得るのではないかと思う。



## 編集後記

新年度がスタートしました！どんな年になるのでしょうか・・・私達も新社長のテーマを胸に新たなスタートです！どうぞよろしくお祈りいたします。